

大桑 第98号 まさたか 1月号



さかえく せかい か
栄区から横浜を変える！

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅で配っていきます！

栄区から、しがらみのない市政(政治)を実現します！

市議員2期目

よろしくお願ひします！

市議員としての約束

- 1、選挙の前も選挙の後も駅前に立ち続け新聞(広報)を配り続けます。
- 2、大桑まさたかの政務調査費を公開し続けます。
- 3、私たち市民が市政(政治)に参加する流れをつくります。
- 4、子や孫のために持続可能な横浜(社会)をつくります。

舞岡上郷線について

これまでも何度かお知らせをした舞岡上郷線についてですが、平成22年12月7日(火)に検討委員会の報告書が横浜市に提出されました。

この報告書の中で、舞岡上郷線は、現状では構造強度を満たしているが、「速やかな補修・補強工事の実施が必要」であるとされました。また、速やかな補修・補強工事の内容として、検討委員会は「雨水侵入防止・腐食進行抑制・落橋対策・構造補強(短期的な対策)を実施することが妥当」と結論付けました。

横浜市としては検討委員会の報告書を受け、短期的な対策を実施するため平成23年1月からの工事を予定しています。平成22年12月21日現在、工事会社の選定をしていますので、工事開始の時期が決まりましたら、改めて、お知らせします。

最後になりますが、この報告書では、「短期的な対策である補修効果が薄れ、再度、対策が必要となる」、もしくは、「新たな損傷や劣化が顕著となり対応が必要となる」までに、本格的な工事が必要だとも指摘しています。このように舞岡上郷線については、すべてが解決したわけではありませんので、今後もお知らせしていきます。

大桑新聞

プロフィール

大桑正貴(まさたか)

第98号(1月号)

連絡先

横浜市議員 大桑正貴(市政報告書)

〒247-0005 神奈川県横浜市栄区桂町688-4-601

TEL : 045-892-5187

FAX : 045-892-5187

H P : <http://m-okuwane.net/>

E-mail : m-okuwane@mvg.biglobe.ne.jp

昭和48年(1973年)7月4日生まれ横浜育ち 血液型A型

横浜市立小山台小学校入学

大分県立大分舞鶴高校入学(1年次冬、転勤で横浜へ戻る)

神奈川県立大岡高校卒業

神奈川大学法学部法律学科卒業

平成14年(2002年)12月 アシスト株式会社退職

平成15年(2003年)4月 横浜市議員 初当選

平成19年(2007年)4月 横浜市議員 2期目当選

平成21年(2009年)9月 明治大学 専門職大学院卒業

趣味 : サッカー、バスケットボール

家族 : 妻、子(3人)、ママ(猫)、グリ(犬)

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅、いずれかの駅で配布しております。

11月分の収支報告(収入は政務調査費55万円/毎月)

平成22年度11月現在の政務調査費累計残高は**一54,343円**です。

今月の支出の内訳

研究会・研修会費	0円	会議費	0円
調査研究費	13,850円	事務費	13,973円
資料費	7,170円	事務所費	90,135円
広報・広聴費	345,427円	その他	0円
人件費	70,420円		

11月の支出合計は

540,975円です。

近況報告

平成22年12月21日現在、平成23年第1回市会定例会が1月28日(金)から3月18日(金)の予定で開催されることになっています。もし会期に変更があれば、改めて、大桑新聞でお知らせします。

次に、今年も昨年に引き続き、駅前などで大桑新聞(市政報告)を配って行きますので、よろしくお願ひします。大桑新聞を配りはじめて今年で9年目になります！

最後に、私の政務調査事務所についてですが、毎日、同じ時間に事務所に人がいるという体制を作ることはできていません。そこでお願いになりますが、お電話を頂き、留守番電話になった時には、是非、お名前や電話番号を留守番電話に残して下さい。留守番電話にメッセージを残して頂ければ、おりにかえしの電話をかけることができますので、よろしくお願ひします。

横浜開港150周年記念事業

平成21年度に開催された横浜開港150周年記念事業の収支不足問題(赤字問題)については、これまでの大桑新聞でもお知らせをしてきましたが、平成22年12月に開催された第4回市会定例会において、一定の方向性が出ましたので、改めて、お知らせをします。

はじめに結論から申し上げますが、横浜市は、今回、横浜開港150周年記念事業の収支不足を解消するために、12億6,551万8,710円を支出することとなりました。ただし、今回の支出については、博報堂JVとの合意であり、他の利害関係者との金銭交渉は残っています。

次に、今回の財源についてですが、結果的にということになりますが、横浜市職員(市会議員も含む)の給与を引き下げたことによってできた約30億円となっています。結果的にはありませんが、博報堂JVに支払う12億6,551万8,710円は、職員の人件費を充てるかたちとなり、直接、税金を投入するということにはなりませんでした。

最後になりますが、横浜開港150周年を記念しての大切な事業が収支不足という事態に陥ったことについて、横浜市議員である大桑正貴としては猛省をするとともに、皆様に、心からお詫びを申し上げます。

国際会議の参加者数

横浜市は、2009年に日本国内で開催された国際会議の参加者総数において、1位となりました(2007年・2008年と3年連続の1位となっています)。これは日本政府観光局が発表しているもので、年に1回発表されています。

次に、国際会議への参加者総数ですが、1位となった横浜市が327,513人となっています。以下は、2位が東京(23区)の152,193人、3位が福岡市の114,103人などとなっており、横浜市が他の都市を大きく引き離しています。

最後になりますが、昨年は皆様のご協力を得て、APECを無事に終らせることができましたので、2010年の国際会議の参加者総数の発表が今から楽しみです。また、横浜市としては、今後も、経済波及効果の高い国際会議を横浜市に数多く誘致できるように活動していきますので、ご理解・ご協力をお願いします。